

2019市場が発する異音

国際金融マーケット研究者
豊島逸夫

- *突然流れてきたアラムコ上場話
- *金買いは米ドルへの不信任投票
- *中国筆頭に新興国も金購入ラッシュ
- *金価格は先物と現物の両面でチェックする
- *人民元を信用しない中国、婚礼需要のインフレ
- *有事の金買いにある落とし穴
- *金は相続には最も適している
- *軒並み超低金利に向かう世界の金利
- *緩和競争にカードがない日銀
- *世界が注視するドイツの財政出動



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
夏休みが終わり、いよいよ9月に入りまして講演会も再開いたします。

本日はよくご存じの豊島さんにおいていただきました。三菱銀行、スイス銀行、それからワールド・ゴールド・ゴールド・カウンスルを経て、今マーケットで独自の活動をされておられます。昨年、この時期においていただきました。その後、相場が上下に大きく動きました。また、これから金の時代が来るということも指摘いただいで、まさしく今、金が話題でございます。今日もお話があると思います。マーケットの生の情報をぜひお聞きいただき、皆さんの投資にもお役立ていただきたいと思っております。それでは豊島さん、よろしくお願いたします。（拍手）

突然流れてきたアラムコ上場話

豊島 こんにちは、豊島です。

去年の講演録を見ていたら去年は9月7日にやっております、ちょうど1年前です。思い出すと、その次の週にニューヨークに出張だったんです。それはどういう目的かというところ、ヘッジファンドに頼まれて日本株のレクチャーをする。ジnkクスがあつて、私がヘッジファンドに呼ばれると、その後日本株が買われる。それは私のような独立系の者が呼ばれるということとは、ある意味本気度があるわけですね。セルサイドの業界情報の裏を取るといふことで呼ばれる。案の定というか、私が行った週から3週間ぐらい連続で東証の統計で外国人の買いが続